横須賀市スポーツ協会広報紙　第113号
スポーツよこすか
創立　昭和 10. 11. 3
創刊　昭和 58. 8. 1

横須賀市スポーツ表彰式が実施されました

２月３日（土）、横須賀市文化会館大ホールにて、令和５年度横須賀市スポーツ表彰式が実施され、体育功労者９名２団体、スポーツ栄光章161名（個人49名チーム８団体）、スポーツ大賞３名の皆様が表彰を受けました。（受賞者一覧は次ページ）

スポーツ協会から代表して齋藤会長代理が登壇し、祝辞を述べていただきました。

また、横須賀剣道連盟の大竹誠二様が横須賀市体育功労者を代表して謝辞を述べました。

受賞された皆様、おめでとうございます。今後のご活躍にも期待しております。

発行所　横須賀市小川町11番地
横須賀市文化スポーツ観光部
スポーツ振興課内
横須賀市スポーツ協会
広報委員会
編集責任者　会長代理　齊藤幸次
印刷所　㈲セイキ印刷

新しい年を迎えて

横須賀市スポーツ協会会長代理　齋藤幸次

新年あけましておめでとうございます。

昨年は本協会の事業において多くのお力添えをいただき心から感謝申し上げます。引き続き変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

今年はパリオリンピック・パラリンピック開催の年であり、スポーツの話題で世界が盛り上がることが期待できます。スポーツが人々に感動と情熱、そして元気を与えてくれることが今から楽しみでなりません。

さて、本協会の選手強化事業として行っている「横須賀ジュニアトップアスリートアカデミー」８期生の募集が始まります。今年の４月に６年生、中学１年生となる児童を対象に、４種目（レスリング・新体操・ライフル射撃・セーリング）において、次世代を担う選手の育成を目指します。

また、２月３日には横須賀市スポーツ表彰式において、多くの受賞の皆様をお祝いすることができました。受賞された皆様、誠におめでとうございます。これまでの長きに渡る努力に深く敬意を表しますとともに、今回の受賞を弾みに２０２４年の更なるご活躍を期待しております。

去る１月21日には元バレーボール日本代表「益子直美」氏による講習会、２月10日にはスポーツビジョントレーニングを実施しました。ご協力いただいた皆様に御礼申し上げます。

今後も皆様に喜んでいただけるような有意義な講習会を実施してまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和５年度横須賀市スポーツ表彰式　受章者一覧（敬称略）

横須賀市体育功労者（９名２団体）

推薦団体	氏　名（名　称）
横須賀ソフトテニス協会	伊東　やちよ
横須賀剣道連盟	大竹　誠二
横須賀サッカー協会	大津　豪太
横須賀スキー協会	岡野　邦郎
横須賀体操協会	齊藤　智子
横須賀水泳協会	眞田　光夫
横須賀ソフトボール協会	谷本　正美
公郷学区体育振興会	中田　利勝
横須賀剣道連盟	山森　佐知子
横須賀剣道連盟	横須賀警察署少年剣友クラブ
横須賀市レクリエーション協会	横須賀ユースホステル協会

横須賀市スポーツ栄光章　個人（49名）

種　目	氏　名
アーチェリー	大竹　肇
アーチェリー	大貫　渉
アーチェリー	小南　空渡
カヌー	白幡　智美
サッカー	松崎　佑亮
水泳	古賀　武文
水泳	古賀　華泳
水泳	篠田　力
水泳	二本木　望来
水泳	細井　成
水泳	松原　光佑
水泳	宮﨑　優香
水泳（トライアスロン）	薬師　かれん
水泳	山口　久馬
水泳	山田　博康
ソフトテニス	近藤　翔
ソフトテニス	餅原　大晟
ソフトボール	小野　愛果
ソフトボール	川副　楓
卓球	斉藤　龍馬
卓球	渡邊　登美代
テニス	佐藤　仁則
テニス	正木　譲
バウンドテニス	湊　聖司
バウンドテニス	横山　寿子

団結して進みましょう

横須賀市スポーツ協会理事長　柏木雅一

２０２４年を迎え各理事の皆様「あけましておめでとう」ございます。

皆様におかれましてはご健勝のこととご拝察申し上げます。

昨年度はスポーツ協会で計画しておりました各事業は順調に実施することができました。各団体から多くの参加者を得て行うことができました。誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスが大分下火になり、各団体の行事も有観客で行ったことと思います。

４年ぶりに日常が戻ってきて、スポーツ協会といたしましても活気・やる気が戻ってまいりました。

１月１日（元旦）に能登半島大震災が起き、大変な被害が起きました。死者、行方不明者が多数出たり、また家屋の倒壊並びに道路の寸断と大変な被害が出ました。雪の降り積もる能登半島での生活は想像以上に過酷であり大変なことと思います。

一刻も早く復興できるように願わずにはいられません。

先日の都道府県女子駅伝では第１区石川県代表である五島さんの力走に被災を受けられた県民の皆様にとって大変勇気付けられたことと思います。

横須賀でもスポーツの力で元気付けていきたいと思います。そのためにも40団体が協力し合って横須賀市を盛り上げていきたいと思います。

さて、１月21日（日）に行われた元バレーボール日本代表選手の「益子直美」氏による「監督が怒ってはいけない大会を開催した理由」の講演を行い、その折、各団体・一般の参加者が多数で大変有意義なお話を頂きました。各団体に持ち帰って参考にしていただけるとありがたいです。

これもシティサポートよこすか様のご支援を頂き開催することができました。これからもシティサポートよこすか様のご援助を頂きながら、会員皆様に有意義な講演会を開催していきたいと思います。

今年度も40団体が一致団結して、その先頭に立ってスポーツ協会は各団体の皆様のために努力していきたいと思います。ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

種目団体だより

横須賀市空手道協会

事務局長　加藤　善久

横須賀市空手道協会は30団体の道場や高校空手道部で構成されています。主な活動は年２回の大会開催と年３回の小学生組手強化練習会・審判員講習会になります。

令和５年10月８日には第96回市民体育大会空手道競技がメインアリーナで開催され、幼年の部からシニアの部まで述べ人数613名の幅広い年齢の方が楽しみながら参加されました。

小学生を対象とした組手強化練習会では強化委員会スタッフの他、高校や大学で活躍している横須賀市出身の選手をゲストにお招きして、子どもたちの技術向上を目指します。

同時開催の審判講習会では初心者からベテランまで一緒に練習し実践形式の経験を目的としております。

横須賀市空手道協会は、今後も横須賀市スポーツ協会と加盟する各種目団体の関係者の皆さんとの連携を密に取り、横須賀市のスポーツ発展に貢献する為、そして横須賀市から素晴らしい選手を輩出すべく活動の運営を継続し進歩強化してまいります。

横須賀地区柔道協会

会長　林　田　和　孝

事務局：西　川　直　好
TEL 080-3525-5896
FAX 046-822-3754

種目団体だより

横須賀市弓道協会

令和5年夏の猛暑が和らぎ季節は秋を迎えようとした頃、横須賀市弓道協会では今年も秋のイベントとして市民体育大会とスポーツフェスタを開催致しました。

よこすかスポーツフェスタにおいてはあいにくの天候となり、矢飛ばし体験は中止となりましたが、それでも大人からお子様まで多くの方々が来場され見学や弓の素引き体験をされ、賑やかなフェスタとなりました。

市民体育大会では、夏の猛暑での練習を乗り越えその成果を発揮し熱戦が繰り広げられました。高校の部ではみなぎる若さと勢いがあり、一般の部では深みのある射がみられました。今年も各部門優秀な成績を納め無事に大会を終えることができました。

来年もまた皆様の活躍を期待し、活気ある大会を開催していきたいと思っております。

（市民大会結果）

高校女子の部

優勝　飯野美空（三浦学苑）

二位　髙橋美礼（横須賀）

三位　藤谷柚那（追浜）

高校男子の部

優勝　深堀瑞月（湘南学院）

二位　角井奏介（横須賀）

三位　橋本大明（三浦学苑）

一般女子の部

優勝　高見澤八重子

二位　高橋智枝

三位　山岡晶

一般男子の部

優勝　神代真琴

二位　福島渉

三位　永野賢行

さらに一月十四日には、二十歳の成人が華やかで凛々しい着物姿で弓を引くことでも有名な京都府の三十三間堂大的全国大会・称号者の部において、当協会所属の永野賢行が初優勝をしたことも喜ばしい出来事です。

横須賀市クレー射撃協会

事務局長　遠藤茂和

横須賀市クレー射撃協会は、昭和50年より独自で歩み始めました。

クレー射撃はオリンピック、国体の種目スポーツですが、一般に認知度が薄く競技場立地の条件も銃弾が外に出ない、銃声の影響が少なく、鉛公害をクリアしなくてはならず、神奈川県内には、伊勢原市に県立伊勢原射撃場、大井に私設の大井射撃場の2か所のみで、どちらも横須賀より片道2時間50kmの距離があり、会員の高齢化も進み、銃、装弾という一般になじみのない道具を使用、法律の制約も多く競技資金も一般スポーツより高額であり所持する複雑さもあいまって競技人口も減少の一途をたどっています。

魅力は前途の条件を乗り越えた先にあります。私も5年前神奈川代表に入り福井国体に出場しています。当時67歳でした。その年齢で国体出場出来るのは体格の差、年齢の差、男女の差、経験の差が出にくい競技だからです。

クレーとはピッチと石灰溶解した灰皿を伏せた形で外形11cm厚み28mm以下色はオレンジとされています。

そのクレーが時速90kmで飛翔時速100m以上で発射された鉛散弾で粉砕する競技です。

破壊の美学でありエキサイティングな時間を味わえます。

1ランド25枚クレーを撃ち全て当たれば25点失点をその枚数分差引きされます。

日本では1日100個撃ち、国際式では2日で合計125個撃ちその上位6名がファイナル戦に残り競います。

世界の壁は厚く125点中5枚以内の失中でないとファイナル戦に残れません。

日本選手は後一歩及びません。

クレー射撃の日本での歴史が浅く良い指導者を輩出することがないので原因と思われます。

しかし、いつの日にか世界の上位に入る選手ができることを期待します。

横須賀ジュニアトップアスリートアカデミー

第８期生募集

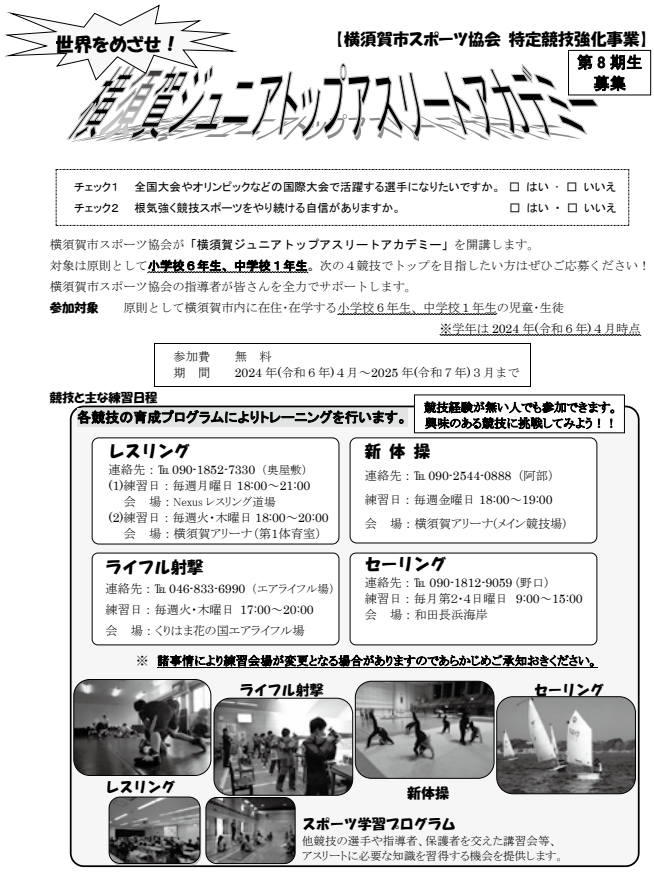
横須賀市スポーツ協会の選手育成事業「横須賀ジュニアトップアスリートアカデミー」が８期目の開講を迎えます。

対象は原則として４月に小学校６年生、中学校１年生を迎える児童および生徒。市内に練習拠点があり市中学校体育連盟種目にない次の４競技を主としてアスリートの育成・強化を図っていきます。４月下旬を開講とし、３月～４月中旬の期間で種目体験会を行いますので、トップを目指したい方はぜひご応募ください!!

横須賀市スポーツ協会の指導者が皆さんを全力でサポートします。

参加費：無料

活動期間：令和７年３月31日まで



詳細は協会 HP にも掲載しております

元バレーボール日本代表
益子直美氏による講演会を実施しました

１月 21 日（日）ヴェルクよこすかにて、益子直美氏による講演会を（一財）シティサポートよこすかに共催をいただき、実施いたしました。

テーマは「監督が怒ってはいけない大会を開催した理由～指導者へのメッセージ～」として、益子氏自身が選手・指導者として経験してきた「厳しい指導」とは違う指導法をお話しいただきました。

指導者の指示通りにしか動けなかった子どもたちが、スポーツの本来の楽しさを思い出し、試合中に自分達で考え、自主性を培っていくことができたということです。

今後もスポーツ協会では皆様にご関心いただける講演会を実施してまいります。

令和５年度スポーツ学習・講習会の実施報告

① 栄養管理や水分補給の学習

7／４：36 名参加　7／25：45 名参加
9／26：36 名参加　12/19：29 名参加

アスリートの栄養摂取の考え方を学び、バランスの良い食事を習慣づけられるよう学びました。健康づくりのための「自分のルール」を作り、実践していくことが大切です！
鈴木志保子先生のわかりやすく楽しい講義で食事に関する知識を学ぶことができました。

② 身体能力を高める学習・体力測定

6／10：18 名参加　6／17：12 名参加
12/２：５ 名参加　12/９：７ 名参加

講師は三井健太郎先生。軽い準備運動から始まりストレッチやゲーム形式の運動など身体全体を使ったトレーニングを行い、同校生徒の皆さまにも選手一人一人に細かな指導をしていただきました。
同学習は、アカデミーの選手を対象として行い、全４回の講習を通じて、スポーツ選手の動きの基礎となる部分を重点に指導をしていただきました。
体幹を鍛えて重心のコントロール能力を向上させることで、自ずと良い結果が出てくるはずです。
最初の講習時よりも見違えるような良い姿勢で動けるようになった選手達の今後の活動に期待しています。

③ 指導者や親が出来るケガ予防の手助け

12/２：15 名

子どもたちが安全に末永く競技を続けられるために、その年代に関わる指導者や保護者が手助けできる必要な知識を学びました。

④ 精神面を高める学習

7／１：85 名参加

選手の魂を揺さぶる言葉がけや、試合前の気持ちの高め方などを学びました。
自分に対して意識的に良い言葉を言い続けることで意識や心の在り方が変わり、より高い実力を発揮することができます。
指導者の声掛けも同じことで、選手が最高の結果を残せるようにぜひポジティブな言葉がけを心がけましょう。

⑤ スポーツビジョントレーニング

2／10：61 名参加

アジュライト Vision Training Studio ヴィジョントレーナーの安達俊幸様による講習会を実施しました。
視覚機能の補完と強化訓練を行い、スポーツや勉強にも効果のある指導法を教えていただきました。